

横浜・山下公園 ● 全国から訪れる患者の9割以上が紹介という免疫療法の名院

がんに対する免疫療法で40年以上の実績

「末期がんの人向け」クリニックも今では健康増進など多様なニーズに対応

17 医療
ルネサンス
横浜サトウクリニック

医療法人社団 自然会
理事長
院長
佐藤 忍
医師

近年のがん治療は、手術、放射線、抗がん剤の三つの標準治療だけでなく、第4の治療法として免疫療法が重視されているが、『横浜サトウクリニック』は独自の免疫監視療法で40年以上にわたって全国から約4万症例の患者を受け入れてきた名院である。「末期がんの人向け」と言われた同クリニックだが、2代目・佐藤忍医師が院長に就任して20余年。「が

単独の治療で治るがんは少数派
がん治療選択へのアドバイスも

「初診は長い方は1時間以上にもなり、当院の免疫治療の説明だけでなく、その方のがんに対して考えられる治療すべてについてメリットとデメリットを説明しています。さらに、どんな状態で効果が出やすいか、そういう体や心の状態を作るにはどうしたらよいか、といった話もします。残念ながらも免疫療法も万能ではなく、単独の治療法で治るがんも少数派です。手術による腫瘍の切除も治療の選択肢ですし、また、

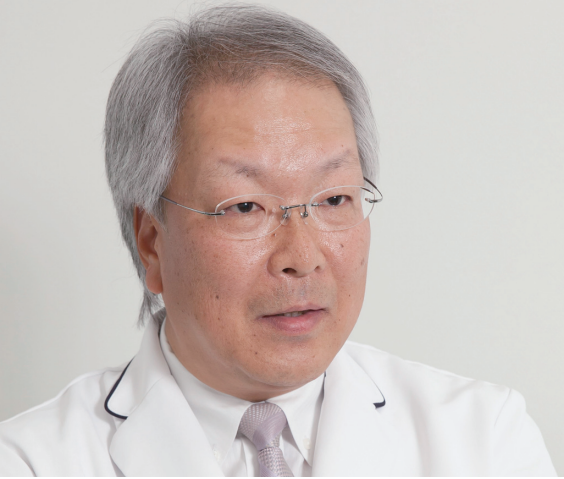
抗がん剤が効くタイプのがんなら、抗がん剤で治療する病院をお勧めします。逆に抗がん剤の効きにくいタイプのがんの場合は、そういった情報を提供して、主治医と相談していただくよう助言しています。がん治療をどう選ぶかをアドバイスする役割になっています」

「がんと同居しながら長く元気でいることを目指すのが免疫療法

免疫療法は長い時間をかけてじっくり

と効果を出す方法なので効果が現れるまで数カ月から半年以上もかかる。これでは余命数カ月という患者には間に合わない場合もあるので、免疫機構を改善してがん細胞増殖の勢いを止め、上手く同居できる状態を作り出す。更に免疫を強くすると徐々にがんが消えていくという。「がんと同居しながら長い時間元気でいることを目指すのが免疫療法で、当院の特徴といえるのは、人間の体に備わっている生体防御システムである免疫力の状態を監視し、正常な活躍を促す免疫監視療法と、がん細胞が熱に弱いことを利用して、高周波（ラジオ波）でがん細胞を直接死滅に導く温熱療法の併用です」

「可能な限り早いうちに、がんの治療にはいろいろな方法がある、と知ってもらえると、どんな方法が自分に合っているかを、主治医に質問しやすくなります」とのことだ。



理事長・院長

●PROFILE 佐藤 忍 (さとう・しのぶ)
医学博士。1958年群馬県前橋市に生まれる。群馬大学大学院医学研究科修了。東京女子医科大学第2外科を経て1995年、急逝した父の後を継ぎ横浜サトウクリニックの院長に就任。親子二代にわたって免疫の研究を行い、免疫監視療法によってがん患者の延命と治療に携わる。

出やすいか、そういう体や心の状態を作るにはどうしたらよいか、といった話もします。残念ながらも免疫療法も万能ではなく、単独の治療法で治るがんも少数派です。手術による腫瘍の切除も治療の選択肢ですし、また、



同じ免疫療法による治療が受けられる「山形サトウクリニック」。
山形市六日町 6-42 YACビル1F
電話：023-622-7777

医療法人社団 自然会
横浜サトウクリニック
<http://www.yscbrp.com/>

＜完全予約制＞
予約受付時間：9:00～17:30（土曜正午まで）
診療◆（火～金）10:00～12:30/14:00～17:30
第3土曜10:00～12:00（変更の場合も有）
※月曜日は窓口業務のみ。
休診日◆第3以外の土、日祝祭日、夏期、年末年始
所在地◆横浜市中区山下町23番地 日土地山下町ビル8階
アクセス◆電車▶地下鉄みなとみらい線「日本大通り」駅3番出口徒歩3分
電話◆045-641-9650（代表）

横浜サトウクリニック